



本社の外観

- 本社所在地：和歌山県和歌山市
- 事業概要：設備配管工事、プラントメンテナンス
- 常時使用する従業員：41名
(2025年9月時点)
- 現在の売上高：11億円
(2025年9月期)
- 法人番号：4170002006173
- Web：https://www.nakamuraindustry.com/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
仲村 勝頼

信用・技術・安全を重視し、活力と潤いある企業を目指す (経営理念)

当社は「信用・技術・安全」を重視し、プラント等の配管工事を通じて社会のインフラを支えてきました。今後、AI普及に伴うデータセンター建設ラッシュや太陽光パネルの大量廃棄という社会課題に対し、当社の高度な特殊溶接技術と、撤去から処理までを一貫して担うリサイクル体制をもって挑戦します。また、最新の自動化設備の導入による労働環境の改善と職人の多能工化を進め、社会から真に求められる100億円企業への飛躍をお約束します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

- ・2035年の売上高100億円達成に向け、2031年までにデータセンター配管の自動量産と太陽光リサイクル事業を確立し、売上高34億円越えを達成する。
- ・その後、確立したリサイクル基盤を軸に、県外への多拠点化を進めると共に、周辺設備工事や産廃業者の積極的なM&A展開によって、売上高100億円を達成する。

課題

- ・データセンター配管で求められる極めて高い気密性（漏水ゼロ）と短納期要求に対する、対応キャパシティの絶対的な不足
- ・熟練技術者の手作業溶接への過度な依存による生産非効率と、残業規制下（2024年問題）における人的リソース不足
- ・太陽光パネル大量廃棄市場の本格参入に向けた、適正な再資源化インフラ（産廃許可等）と一気通貫体制の不足

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・新工場の購入・改修による、データセンター向け配管加工と太陽光リサイクル処理のための加工・保管能力の抜本的拡大
- ・溶接ロボット等の自動加工ライン導入による手作業からの脱却、圧倒的な省人化と高品質（漏水ゼロ）量産体制の確立
- ・最新のホットナイフ技術を用いた非破碎分離設備の導入と、高純度ガラス等の有価売却によるサーキュラーエコノミーの実現
- ・自社職人による現場解列・撤去から新工場での処理までを一気通貫で担う事業展開と、M&Aや多拠点化による商圏拡大

実施体制

- 社内体制
 - ・100億円達成に向けたプロジェクトチームを組成。代表取締役を最高責任者とし、新工場に営業・施工管理拠点を新設。自動化設備の導入に伴う標準作業手順書の作成により若手技術者を早期育成し、次世代の経営幹部を計画的に育成する
- 社外体制
 - ・長年の信頼関係にある専属協力業者との早期スケジュール・施工情報の情報共有により、現場作業の効率化と施工体制を強化
 - ・太陽光リサイクル事業の許認可取得に向けた行政書士との連携や、最新設備メーカーと強固に連携し、確実な事業推進を実現する